

ご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

この度、副会長を拝命いたしました長生支部所属の井桁正昭です。

これまでの私は理事でもなく、会中枢の外にあって、会の運営に微力を注いでまいったものであります。

一昨々年の房州から千葉県全土に及んだ風害、同年茂原の水害では未曾有の事態となり、県の要請を受け相談業務を受託することとなりました。当時の金子会長以下総力戦でこれにあたりました。相談業務に当たってくださった皆様、或いは事情が許さず今回は参加できなかった皆様、本当にありがとうございました。多くの会員、他団体の皆様の力の集結を以て、無事完遂することが出来ました。約1年の期間シフトマネジメントをさせていただきました。私は、連日薄氷を踏む思いでありましたが、皆様の温かい協力を頂き1日も穴を空けることなく終了することができました。このことは、会と会員への信頼心を醸成する機会を頂いたものと感謝しております。

副会長を拝命して会を内側から見て改めて思うことは、会員の献身的、犠牲的、努力によって運営されているということです。各委員会の皆様のエネルギー投入量は相当なものでこの努力が各事業、催しへと実現され会員の資質能力の向上に役立っているのですね。会員の資質能力向上に倍加して、企画する側の委員会メンバーの資質能力の向上は大変なものだと信じます。

ここでまだ入会前の、建築事務所の皆様に申し上げるならば、ぜひ当会に入会いただきたい。若い所長さんには特にお願いいたします。そして、支部や本部の事業に積極的に参加され、「招かれる側から招く側」に身を置き自らの向上心を大いに刺激してほしいと思います。ご自分の業務と協会活動を調和させ更に知見を深めていただきたいと思います。

さて、副会長の任を頂き早くも半年が経過いたしました。私として会に何ができるか、何をなすべきか自問自答するところです。

日本が収縮を始めた今、建築は新築から既存の活用へと変化しています。かつての経験にない大変化です。急速に変化する環境に本会が如何に対応できるかが、勝負の分かれ目です。会長を支え、常に会員の利益と会の発展を意識して行動してまいります。会員相互の協調性、融和性、自律性を尊重し、求心力向上に微力ながら力を尽くします。

目下はコロナ禍です。大分終息したとは言え、危機感は依然として軽減されません。本会もリモート方式など近代兵器を駆使して交流に努めていますが、今一つ十分なものはなっていませんね。今後の進歩に期待というところでしょうか。支部の活動も依然障るところで、支部の皆さんには何かとご苦勞が多いことと思います。また、支部の皆さんには、本部の様子が伝わりにくい状況かと思えます。支部と本部の疎通が課題と認識しています。1日も早くコロナ禍が終息し平穏な日々が訪れますよう望みます。

思いつくままに語りましたが、今後ともご指導のほど宜しく願い申し上げます。

本年が会員の皆様にとって進歩、発展、調和の年となりますよう祈念申し上げます。



公益社団法人 千葉県建築士事務所協会
副会長 井桁 正昭